

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>当園の理念として「毎日気持ちよく過して頂く」をモットーとしケアを行っているが、まだ職員間の共通意識がしっかりと構築できていない為今後も取り組んで生きたい</p>	<p>○</p> <p>地域密着型サービスとして法人の理念を基本としながら更に具体化し、独自の理念を職員とともに考えていきたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎月1回行われる部会では、施設の理念を理解したうえでのケアを行えているか見直している。</p>	<p>○</p> <p>今後も理念を継続していく為にも、スタッフで集まる度に検討していかなければいけない。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>新年会などを催し、地域の方にも当園の指針を理解していただける様取り組んでいる。</p>	
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>御利用者様との散歩の際、地域の方とはご挨拶を交わしている。又、老人クラブの方も気軽に立ち寄られている</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域のゴミ拾いを利用者様と一緒にしない、地元の方との交流を持ちながら環境整備に努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	新年会で踊りの催しなど行われた際は、スタッフでセットの飾り付けなど行い、地域の方もお呼びし楽しい時間を過ごせている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	去年、外部評価で頂いた意見として、緊急時のマニュアルの作成、その方らしさのでている居室の雰囲気作りになんげづつだが取り組んでいる	○	ご家族からの情報を元に、もっと御利用者様に過しやすい環境を提供する目的ですすめていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では行なつた行事や、御利用者様の状況を詳細に報告し会議の結果は常時玄関に掲示している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には参加をさせていただいているが、それ以外での行き来はない状態である。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在のところ対象利用者はおられない 来年開催される介護者教室「成年後見人制度について」に参加予定。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴の際など、御利用者様の全身状態を常に把握し虐待の早期発見、早期予防に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJT実績表に基づき、基本的知識・技術の指導を行なっている。また、年間教育訓練計画にて職員の研修参加の機会を設け、知識・技術の向上に努めている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム関係の研修会参加を進め、研修会にて同業者との交流の機会を持ち、他施設の状況や情報を収集し自施設のサービス向上に努めている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	在宅部次長や地域課課長を置き、管理者や職員が意見・要望を相談し易いようにしている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	人事考課を用いて努力している職員への評価を行なっている。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	慣れない環境に戸惑ってらっしゃる、ご本人の心情を速やかに汲み取り、常に穏やかに過ごして頂くよう心掛けている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御利用時に辺り、御家族の抱えてらっしゃる疑問や不安に傾聴し安心して御利用頂くよう心掛けている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人及び御家族の「その時」のニーズを察知し速やかに対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	他者との交流の場をセッティングし、自然な流れで施設及び御利用者様に慣れて頂くよう心掛けている		
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人様のアセスメントを元に、残存機能を充分活用して頂くようスタッフはあくまでの脇役に回り、側で支える様心掛けています。また、日常の会話の中から生活の知恵や漬物の漬け方など教えていただき施設の食卓の充実にもつながっている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御利用者様に異変があった際には、速やかに御家族に状況報告をし、施設での様子を把握して頂いている。それにより、御家族と一緒にご本人を支えていると思う		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所されても、御利用者様は御家族であるという意識を常に持ち、温かな人間関係は維持して頂くよう心掛けている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人の思いを大切にし、関係が途切れないよう努力している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	御利用者様がお互い、和気藹々と毎日を過ごして頂くようスタッフと共に雰囲気作りにも努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	永眠され、退所された御利用者様の御家族ともグリーンケアとして数ヵ月後自宅を訪れたりしている。		
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に、どんな風に余生を過ごしたいと思われているか会話の中からも引き出し、御本人様の意図に叶うよう努力している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を利用し、御利用者様の個別ケアを充実できる様努力している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	午前午後のバイタルチェックを始め、入浴の際も全身状態を観察し常に御利用者様の全体に留意している		
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御家族が面会にみえた際など、積極的にコミュニケーションを取り、御本人だけではなく、御家族の御意見も取り入れる事に努力してる		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人様の状態の変化に合わせてプランの見直しをする為、その都度カンファレンスを開き本人様に適したサービスを提供するよう心掛けている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録に、御本人様の様子を詳細に記入し出勤した際目を通し、情報の共有を心掛けている。又、毎月1月の様子をまとめ計画の見直しの際に参考になる様になっている		
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人様の日々の様子に留意し、柔軟な態度でその時の御利用者様に適したサービスを提供している。運動会を開催したり、踊りの会を催したりと御利用者様の残存機能を生かせる機会を作っている		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	火災訓練は、近くの消防署から来て頂きガールスカウトのボランティアの訪問など、大勢の方に支えられている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ターミナルの際には、訪問看護の導入を行い その方らしい穏やかな最期を迎えていただいた。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは、2ヶ月に1回の運営会議の際に意見を頂きよりよいケアにつながっている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	適宜かかりつけ医に受診し、全身状態を診て頂く事により内科的な入院は今年4月～0である。定期薬の処方など、きちんとした治療を受ける事ができている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	御利用者様の最近の状態など専門医に相談する事により、よりよいケアにつながっていると思われる。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が常勤1名おり、24時間携帯電話などで連絡が取れる様になっている為、緊急時は速やかに対応できている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	御利用者様が入院された際などは、支障のない範囲でお見舞いに伺い、病院での様子なども医療関係者から情報を得ている。その情報が退院後の施設での生活の留意点に役立つこともある。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人様の変化に合わせてカンファレンスを開き、御家族と本人様の臨まれる最期を迎えて頂くようスタッフ一丸となって取り組んでいる。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医に、小まめに状態報告を行い指示を仰いでいる。又、御家族への状態説明もその都度行なって頂き、本人様の変化に備えて御家族と共に力を合わせてケアしていく姿勢で臨んでいる。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	施設に転居された方が2名程いらっしゃいましたが、アセスメントなどをまとめ、本人様の情報を転居施設に伝える事で環境が変わってもスタッフが心得たケアを行なっていける様努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に個人の尊厳を尊重し対応するように心がけている。また、プライバシーの保護に心がけている。個人情報の取り扱いについては十分に配慮を行っている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人様の残存機能を生かし、ご自分で判断できる事は時間がかかっても行なって頂いている。理解力が低下している方にも、状態に合わせて理解して頂いた上でケアを行なっている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の生活歴やアセスメント、ご家族様からの情報を元に、その方らしい毎日を送って頂く様支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	御家族のお話を伺い、行き着けの美容院など慣れ親しんだ環境でゆっくりと整容して頂いている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	本人様の疾患やウエイトコントロールも配慮し、副食や主食の加減、メニューなど配慮している。調理やつぎわけ等、ご利用者とともにやっている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒の習慣のある方は、気分に応じて飲酒して頂き「家庭的な雰囲気」で暮らして頂いている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿パッドなど使用されてる方も時間を決めて排泄誘導を行い、できるだけトイレにて排泄して頂き、その爽快感を感じていただいている。又、保清の為パッド使用の方は、毎日陰部洗浄を行い尿路感染を予防している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できれば夜間入浴が望ましいが、まだ実現していないのが現実	○	できるだけ、本人様の望む時間に入浴できる様体制を組んでいきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝前は寝衣交換して頂き、ゆったりとした気分で就寝までの時間は過ごして頂いている。又、就寝時間も固定せず眠気がきてから休んで頂き個別に対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	以前されていた趣味などを御家族から教えていただき、施設において練習して頂いたりするのがベストだが、まだそこまで到達できていない	○	個別な作業療法に取り組んでいきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物にでかける際は、本人様に支払いなどお願ひし社会参加も促している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ゴミ袋を持って、近所を散歩しながらボランティア活動をしたり天候や、その方の体調に応じて活動して頂いている。また、ご希望に応じて買い物ドライブにでかけたり、庭の草むしりを一緒に行ったりとなるべく外で過ごすよう心がけている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご自分の生まれ育った所や懐かしい場所に、時々ドライブとしてお連れし、その頃のお話を伺ったりしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば電話をかける介助など行なっている。電話で話す事によって穏やかな気分になれる。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の方がみえたら、笑顔で挨拶する事を心がけお茶とお菓子のおもてなしで、ゆっくりと過ごして頂くよう配慮している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に職員に身体拘束を行わないよう指導し、拘束のないケアを行っている。拘束マニュアルなど、職員に配布し学ぶ機会を作っている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は夜間のみ、外部からの進入を避ける目的でのみかけている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	無断外出など予防する為に、常に御利用者様がいらっしゃるか配慮している。でも、まだ充分とは言えない為今後もより留意していく必要はあると思われる。	○	職員の意識向上と見守りの体制作りを行うとともに玄関にセンサー設置など考慮していきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人個人の判断力の能力に応じて、スタッフサイドで見守りを行う様にしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤嚥、窒息などおこった場合の勉強会などが充分行なえていない	○	マニュアル作成をし、今後強化していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消火器の設置など、消防署の指導に添った整備をしているが訓練がまだ行われていない。	○	訓練の予定をたて、職員間の意識づけをしたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害マニュアル等は整備してあるが、夜勤者を含めた火災訓練が十分に行われていない。	○	マニュアルに沿って、ご利用者が安全に避難が行えるように火災訓練に取り組んでいく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	本人様のADLなどから推測される危険を認識し、見守りなどを充分に行う事により本人様にのびのびと暮らしていただいている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	気がきがあれば、速やかに職員間で伝達し、状態観察を行わない危険防止に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御利用者様の情報を一喝にまとめたファイルを作成し、疑問があれば速やかにそれに目を通す様に心掛けている。又、どうしてもわからない事は確認する様心掛けている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を見ながら、排便困難な場合などDr指示の内服を飲んでいただいたり、本人様が飲まれていた民間療法などでフォローしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	介助が必要な方は介助にて口腔ケアを行なっている。又、毎週火曜日はポリドントを定期的に行なっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を見ながら、摂取量が少ない時は捕食などで対応し逆に過食の時は、主食を減らしたりと加減している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いなどの励行、食器乾燥機による高熱殺菌など抵抗力の弱い御利用者様の感染を予防している。又、御利用者様の就寝前の歯磨きなど誤嚥性肺炎の予防にも努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	天候のいい日は、食器やまな板、洗い桶などを全部日光に当て消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に鉢植えや緑を置き、温かな雰囲気をかもし出している。又、ウェルカムボードを玄関に置き、最近の利用者様の活動状況をアピールしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりもよく、外の景色が見えることにより季節感を感じていただけている。また、常に照明や室温に留意し心地よく過ごしていただけるように配慮を行っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個別に過ごせる空間がまだまだ不十分であり、今後の課題と思われる	○	ホールの一部にラピスを置いたり・・・とちょっとした空間作りを行なっていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が使い慣れている家具などをお持ち頂くよう説明はしているが、スペースの問題などもありどうしても購入される場合が多い	○	下見に来られた際や契約の際などに、もっと本人様の居心地のよい空間になる様 御家族に説明したい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	小まめに換気したり加湿器を使用する事により、適した温度湿度を維持できる様配慮している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	適所に手すりを設置してあり、残存機能を生かして生活できる様設備に工夫がなされている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個別にコミュニケーションを取り、会話の中でもフォローを行い皆さんで楽しい時間を過ごせる様サポートしている。また、居室に本人様らしい飾りなどを名前札につけるなど、混乱を防いでいる		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭に畑を作り、ご利用者様とともに草取りを行ったり、天気の良い日はベランダでティータイムを楽しむなどしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「毎日を明るく楽しく」をモットーに運営させていただいております。  
「高齢者だから・・・」「認知症だから・・・」と決めつけしないで、常に新しいことにチャレンジさせていただいています。  
そのうちのひとつとして昨年・今年と運動会を開催しました。残存機能をいかし、皆様大変お元気に驚くほどのお元気な姿を見せていただきました。  
これからもスタッフと共にいろいろな企画を立て、毎日、笑顔の絶えない施設作りに努力していきたいと思っております。